

令和7年11月吉日 作成 鶴園良文

【議員報酬の比較と人口・世帯数及び議員1人がお世話している人数】

※鹿児島県の(市19)・(町2を選んだ)中で、黄色で囲んであるところ3万人以上の人口数 該当の市

↓No.17 阿久根市は、3万人以下の市なのに議員報酬だけは他・市・町 並みです。

令和7年11月吉日

No	市	① 一般議員	② 副議長	③ 議長	人口数	外国人	議員数	議員/1人	世帯数
1	鹿児島市	686,000	738,000	790,000	587,571	5,546	45	13,057	306,258
2	霧島市	402,000	432,000	540,000	122,493	1,436	26	4,711	63,187
3	鹿屋市	370,000	396,000	450,000	97,663	1,376	26	3,756	51,253
4	薩摩川内市	370,000	396,000	458,000	89,274	773	25	3,570	46,171
5	始良市	303,000	326,000	409,000	78,083	764	24	3,253	38,891
6	出水市	303,000	326,000	409,000	50,847	1,297	20 ²⁰ 18	2,824	25,928
7	日置市	299,000	323,000	404,000	45,692	481	20	2,284	22,553
8	奄美市	321,000	349,000	420,000	39,666	220	18	2,203	23,272
9	指宿市	286,000	310,000	388,000	35,918	786	18	1,995	17,251
10	曾於市	295,000	318,000	397,000	31,549	746	18	1,752	17,043
11	南九州市	289,000	314,000	393,000	30,797	794	18	1,710	16,056
12	南さつま市	330,000	353,000	432,000	30,672	328	15	2,044	16,521
13	志布志市(選挙2月版)	320,000	342,000	426,000	28,247	899	16	1,412	15,074
14	いちき串木野市	319,000	342,200	425,200	25,441	528	14	1,590	13,139
15	伊佐市	266,000	283,000	368,000	22,284	281	16	1,392	12,276
16	枕崎市	275,000	292,000	370,000	18,490	613	12	1,540	10,253
17	阿久根市	303,000	326,000	409,000	17,860	291	14	1,275	9,584
18	西之表市	256,000	272,000	354,000	13,832	148	14	988	7,938
19	垂水市	261,000	283,000	366,000	12,695	530	14	906	7,101

令和7年11月吉日

No	市	① 一般議員	② 副議長	③ 議長	人口数	外国人	議員数	議員/1人	世帯数
20	さつま町	277,000	305,000	370,000	18,343	529	14	1,310	9,797
21	長島町	227,000	250,000	303,000	9,171	95	14	655	4,304

※各 市・町・の議会運営委員長・常任委員長の報酬は調査済ですが記載しておりません。

令和7年11月18日 (火) 議会報告会及び意見交換会開催 出水市役所 (本庁)

1階 多目的ホール 午後 6時30分～8時迄 実施 (市民に伝わっていないことから参加者少数でした。)

その席で出水市の議員報酬 (一般議員・副議長・議長・他の委員長) アップされた額 の内容変更の報告

※一般議員・副議長・議長・議会運営委員長 (見直し額) 31,000～64,000円の大幅なアップ

(一般議員364,000円)×(副議長389,000円)×(議長440,000円)×(議会運営委員長374,000円)

【各・市・町・面積に対して人口密度の多い順位】※人口密度順位 (No1～19)

3万人以上の市・人口数・面積(Km ²)				政務活動費 あり ○・なし ×		
No	市	人口数	面積(Km ²)	人口数÷面積=人口密度	人口密度順位	政務活動費 支給額
1	鹿児島市	587,571	547.6	1,072	1	○ 会派15.0/月×12
2	霧島市	122,493	603.7	202.9	7	○ 3.0/月×12
3	鹿屋市	97,663	448.3	217.8	6	○ 2.0/月×12
4	薩摩川内市	89,274	683.5	130.6	11	○ 1.5/月×12
5	姶良市	78,083	231.3	337.5	2	○ 3.0/月×12
6	出水市	50,847	330.1	154.0	9	○ 1.5/月×12
7	日置市	45,692	253.0	180.6	8	○ 1.3/月×12
8	奄美市	39,666	306.2	129.5	12	○ 2.25/月×12
9	指宿市	35,918	148.8	241.3	3	○ 1.0/月×12
10	曾於市	31,549	390.1	80.8	16	○ 1.0/月×12
11	南九州市	30,797	357.9	86.04	15	×
12	南さつま市	30,672	283.3	108.2	13	×
13	志布志市	28,247	290.0	97.4	14	○ 1.5/月×12
14	いちき串木野市	25,441	112.3	226.5	5	○ 1.2/月×12
15	伊佐市	22,284	392.4	56.7	19	○ 1.5/月×12
16	枕崎市	18,490	74.8	247.1	4	×
17	阿久根市	17,860	134.3	132.9	10	×
18	西之表市	13,832	205.8	67.2	18	○ 1.0/月×12
19	垂水市	12,695	161.9	78.4	17	×

※参考(鹿児島県の19市・それと阿久根市に近隣する2町を上げて見ました)

20	さつま町	19,225	303.4	63.3	2	×
21	長島町	9,689	116.1	83.4	1	×

※人口密度とは、「人口数(住民基本台帳人数)÷面積」(1平方キロメートル)あたりに住んでいる人数

※令和6年度の阿久根市の財政力指数は0.35で経常収支比率は約90.7%です。

また、決算統計における性質別の自治体の年間人件費約18億7200万円です。

それから、令和4年度一人当たりの阿久根市の市民(法人を含む)所得は約243万円です。

近隣の長島町(法人を含む)は約282万円です。長島町に約39万円程の差で完敗です。

全市民の総所得を人口(子どもや高齢者含む)割った人口一人当たりの額のこと自治体毎の市民(法人を含む)一人当たりの経済力比較にはなるものと考えます。(令和5年度まだ発表無し)

阿久根市の財政健全化については実質公積費比率19市の中で低い方から数えて4番目です。

自主財源比率約31%です。(低い方が健全な経営と言えます)(国・県からの補助金依存約69%)

自主財源比率の計算式 自主財源比率(%)=(自主財源/歳入決算総額)×100

※【①阿久根市隣接する②出水市・③長島町(令和6年度)一般会計決算額記載】

①阿久根市(6年度)一般会計決算額(歳入約146億1086万円)・(歳出約139億7434万円)

②出水市(6年度)一般会計決算額(歳入約354億6889万円)・(歳出約339億3016万円)

③長島町(6年度)一般会計決算額(歳入約143億5281万円)・(歳出約137億4756万円)

①【阿久根市自治体の場合】

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指標のことです。
「基準財政収入額」を「基準財政需要額」数値で3年間の平均値です。

この値が高いほど自前の収入で標準的な行政サービスが出来てくることから、財政に余裕があると判断されます。

指数が **1** 超えると普通交付税が交付されず、財政が自立しているといわれます。

阿久根市の場合財政力指数が**約 0.35**で **1** を超えていないことから国からの交付税がもらえることになります。

経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造「弾力性」(ゆとり)を示す指標で、人件費・扶助費・公積費^{ふじよひ}といった経常的な経費に、地方税や地方交付税といった経常的な収入がどれだけ充てられているかを示すものです。

この比率が高いほど、財政が硬直化しており、新たな行政需要など柔軟に対応できる余裕が少ないことを意味します。

阿久根市(令和6年度)場合は、経常収支比率は**約 90.7%**です。

※比率が高い場合は経常的な収入の多くが、人件費や扶助費・公積費などの「義務的経費」に充当されており、それ以外の財源に余裕がない、つまり**財源構造**が**硬直化**している状態です。

自主財源とは、地方公共団体が自らの意思で収入額を増減できる財源で、具体的には地方税(市民税・固定資産税など)・分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金(使途がされていないもの指定業者)などが含まれます。

歳入決算額は、その年度の会計(一般会計など)に入ってきた収入の総額です。

※ 参考

国からの補助金依存 **60%**・県からの補助金依存 **10%**

各・市・町・村が **30%** (一般的に その様になっています。)

◆令和6年度決算統計における性質別自治体の年間人経費 **約 18億7200万円**

令和6年度 阿久根市 常勤職員数(217)・非常勤職員数(183) 合計= 400人

令和7年度 途中段階の為 公表されていません。

②【出水市自治体の場合】

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指標のことです。「基準財政収入額」を「基準財政需要額」数値で3年間の平均値です。

この値が高いほど自前の収入で標準的な行政サービスが出来てることから、財政に余裕があると判断されます。

指数が **1** 超えると普通交付税が交付されず、財政が自立しているとみなされます。

出水市の場合財政力指数が**約 0.43**で **1** を超えていないことから国からの交付税がもらえることになります。

経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造「弾力性」^{ゆとり}を示す指標で、人件費・^{ふじょひ}扶助費・公積費といった経常的な経費に、地方税や地方交付税といった経常的な収入がどれだけ充てられているかを示すものです。

この比率が高いほど、財政が硬直化しており、新たな行政需要など柔軟に対応できる余裕が少ないことを意味します。

出水市（令和6年度）場合は、経常収支比率は**約 86.4%**です。

※比率が高い場合は経常的な収入の多くが、人件費や扶助費・公積費などの「義務的経費」に充当されており、それ以外の財源に余裕がない、つまり**財源構造**が**硬直化**している状態です。

自主財源とは、地方公共団体が自らの意思で収入額を増減できる財源で、具体的には地方税（市民税・固定資産税など）・分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金（使途がされていないもの指定業者）などが含まれます。

歳入決算額は、その年度の会計（一般会計など）に入ってきた収入の総額です。

※ 参考

国からの補助金依存 **60%**・県からの補助金依存 **10%**

各・市・町・村が **30%**（一般的に その様になっています。）

◆令和6年度決算統計における性質別自治体の年間人経費 **約 53億1263万円**

令和6年度 出水市 常勤職員数 (641)・年度末非常勤数職員・(383)・医療センター(323)

令和7年度 途中段階の為 公表されていません。（※上記の医療センター職員数届出）

③【長島町自治体の場合】

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指標のことです。
「基準財政収入額」を「基準財政需要額」数値で3年間の平均値です。

この値が高いほど自前の収入で標準的な行政サービスが出来てることから、財政に余裕があると判断されます。

指数が **1** 超えると普通交付税が交付されず、財政が自立しているとみなされます。

長島町の場合財政力指数が**約 0.19**で **1** を超えていないことから国からの交付税がもらえることになります。

経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造「弾力性」(ゆとり)を示す指標で、人件費・扶助費・公積費^{ふじよひ}といった経常的な経費に、地方税や地方交付税といった経常的な収入がどれだけ充てられているかを示すものです。

この比率が高いほど、財政が硬直化しており、新たな行政需要など柔軟に対応できる余裕が少ないことを意味します。

長島町(令和6年度)場合は、経常収支比率は**約 94.7%**です。

※比率が高い場合は経常的な収入の多くが、人件費や扶助費公積費などの「義務的経費」に充当されており、それ以外の財源に余裕がない、つまり**財源構造**が**硬直化**している状態です。

自主財源とは、地方公共団体が自らの意思で収入額を増減できる財源で、具体的には地方税(市民税・固定資産税など)・分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金(使途がされていないもの指定業者)などが含まれます。

歳入決算額は、その年度の会計(一般会計など)に入ってきた収入の総額です。

※ 参考

国からの補助金依存 60%・県からの補助金依存 10%

各・市・町・村が 30%(一般的に その様になっています。)

◆令和6年度決算統計における性質別自治体の年間人経費 **約 17億6031万円**
令和6年度 長島町 常勤職員数(153)・年度末非常勤職員(236)=合計 389人
令和7年度 途中段階の為 公表されていません。

(1) 阿久根市 市民 への通達

令和7年12月吉日

市民の皆様方 物価高の煽りを受けて日々の生活が困窮している中において 如何 お暮らしでしょうか！ (今回は下記の件について報告します。)

発行元 (元・阿久根 市政を考える会 事務局) 住所 阿久根市

氏名 鶴園 良文

携帯

【議員定数見直し・定数削減した場合の対価の使われ方について】

(記)

◎2023年の3月議員定数の見直しが確定され15人⇨14人に1減されました。市議会 は 市民の皆さんから 選挙で選ばれた議員によって構成され 市民の代表として 市政に市民の要望を反映させるために議論を交わす場ととらえています。

役割としては 市の予算の決定や決算の認定 条例の制定や改廃 契約の締結などの重要な事項を審議し 市議会としての意思を決定する議決機関です。

一方で 市議会での議決をもとに行政運営を行うのが 市長であり執行機関です。議決機関である市議会と執行機関である市長は 対等な立場にたち 相互の均衡を図りながら 街づくりを進めていかなければ ならない使命があります。

又 議員報酬は あくまでも活動の対価であり 給料を得るためだけに何もしないで・汗をかかない議員であっては なりません。(議員さん方 自分の胸に 手を当て 考えて見て下さい 阿久根市民の税金が資源である以上 市民のための「市民サービス」や「施策」に力を注ぐべきだと(小生)は 考えますが 市民の皆様は 如何な ものでしょうか。

市民が安心・安全で誰もが暮らしやすい社会の構築を目指して行政の舵取り役を担って頂く以上(一般議員で 約500万円/年間)プロの集団として議員を市民は見ています。

それがゆえに本気になって働く議員で構成されたら もっと行政・市政・街も活気あふれる 阿久根に 生まれ変わると 想定致します。「議員に選ばれた当時の心境を思い出して」

勝手な 言い分ですがやる気のない議員は市民は 必要 しませんので議員辞職して下さい。(物価高で 日々の生活に困窮している 市民に助成をした方が まだ ましです。)

阿久根 市民が議員に求めているのは 自分のことだけ考えるなど 言うことです。この様な 議員の考えが 低下している中で 意見や判断が揺るがず 真っ当な根拠で周囲の共感を得られる知性・見識ある議員が10人いたら十分です。

【議員定数見直し・議員定数削減したのち報酬(対価)の使われ方について】

(1) 議員定数見直し10人 (例えば10人した場合1期 4年間で約 8000万円)削減可能

(2) 議員定数削減したのち報酬(対価)の配分について(決定前に市民に通達こと)

※特に(2) については議員 以外の市民が選んだ報酬等調査特別委員会を立ち上げ議論を重ね協議の事。

市民の **ひとりごと**

No.1

〇〇市長が誕生して4期目（16年目突入）にされ様としていますが 市民生活は目に見える形で改善されたでしょうか？

市の基金は 約 96億円近くあるにも関わらず物価高で 日常生活に苦しんでいる市民への支援は ほとんど見られません。＜溜め込むだけが行政改革では有りません＞

市長 自信を持って その事が出来ていると胸を張って**市民**に言えますか！

中には 甘い汁を吸って 良い思いをされている方もいらっしゃるのでは……？

光の当たらない所に 手を差し伸べることも 市長の役目だと 小生は考えます。

その様になっていませんと答える方々が市民の70～80 % ではないでしょうか！

お隣の 長島町を見て下さい。

令和7年11月末日 時点で人口数 **9, 168**人(外国人106人)・世帯 **4, 309**戸で 外国人を差し引いたら 長島町の人口数は **9, 062**人です。

小さな町ながら 〇〇町長の卓越したリーダーシップのもと 観光・農業・漁協・畜産・産業面の分野でも 実績を上げられ 活気に 満ちています。

なぜ長島町にできて 阿久根市は できないのですか……？

この件について 我が街は 誰が リーダー（指導者）なのでしょう……！

声をあげない市民が悪いのでしょうか……それを良い事に胡坐をかいている旗振り・関係各位 さん なのでしょう……？

隣に 見本とする町が 有るにも関わらず真似事さえもしようとしない行政関係者の怠慢^{たいまん}なのでしょう……？ **これでは健全な 市政運営は 出来ません !!**

令和8年12月は 市長選挙があり 明けて4月には 市議会議員選挙もあります。この様な中で 阿久根市の 11月末日 時点での人口数 **17, 831**人で 外国人が **299**人で 外国人を省いたら 現時点では **17, 532**人です。（人口減少数年間 約400人）

「頼まれたから」ではなく「任せられる人」に一票を投じましょう！

そう思える候補者に 自分の**意思**で一票を !!

さらに **議員定数削減も 急務な課題**です。（16人⇒**15**人）⇔（15人⇒**14**人）

現在の14人市議を **10人**にすれば 1期（4年間）8, 000万円の財源が浮く計算になりますが**対価を削減するだけの問題**では ありません。（人口数に対しての考え方です）

議員定数削減した議員報酬分を**子供の給食費無料化**や**インフラ整備**に**充**てることも可能ですが・・・(おそらく議員さん方は 別な 用途に使うと思われます・・・クダランです！)

阿久根市の現時点の人口数から見ても 又 規模数に置き換えても **10人**で**十分**です。(但し 選ぶからには **品格・知性・見識**がそなわった候補を選んで頂きたいですね！)
委員会等も全員で 一緒にされたら 審議内容も共有しての問題解決が可能です。
議員にとっては 各種専門的な 審議内容が 聴ける事でも 良いこと づくめです。

昨年 大阪府泉佐野市に踊り連で招待されて分かったと事が一つだけあります。
泉佐野市は約10万人弱の都市でありながら議員定数は たったの**17人**です。
ふるさと納税額は 令和 5年度・令和 6年度も 全国 ランキングで **3 位** です。
(令和 6年度実績は 泉佐野市 **約 181億円** ⇨ 阿久根市 **約 5億 5715万円**)
都市部と地方と対比しては いけないかも知れませんが**取り組み方・本気度**
が違う様な 気がしてなりません。※(令和 6年 長島町 7億913万円)×(令和6年 出水市 5億9312万円)

次に 話しは変わりますが 予算委員会の席で 委員長が**制止**しているにも関わらず **議員席**から一般質問議員に対して **野次** とも とれる **〇〇議員**がいました。
議会では 市民の声を代弁する議員に対して**野次**を 飛ばす行為は いけません。
それも 阿久根市の財源を **約10億円**以上 (図書館建設費) 使うと言う大事な審議中にです！ (委員長は その時に注意は されましたが 次回も合った場合は**厳重に注意**して下さい)

こんなことから阿久根 市議会議員の**品格と資質**が問われるのも**当然**です。
議員の仕事は 行政の監視と 市民の意見を精査分析しての課題 解決です。
「政治ごっこ」ではなく 街を動かす**本気**の**議論**が 必要ではないでしょうか！
阿久根市が **消滅可能性自治体**に**選**ばれるのも**納得**がいく様な気がします。
街を盛り上げる為にも 市民全員が一致団結して健全な住みよい活気あふれる街にしていこうでは ありませんか。『 **!! 俺が、俺が、ではなくて !!**』 声を上げる
※ご意見を お待ちしております。

令和7年12月吉日 阿久根を こよなく 愛する 一市民より

昨年の12月末日迄 市政を考える会の会員 (近い内に鹿児島県に届出をします)

氏名 鶴園 良文

電話

考え方×能力×熱意

だけではだめですよ!

市民の心の痛みが分かる市長

感謝の気持ちをいつまでも

持続できると市民・議員

親切にされたら有難うござい

ますと言える阿久根市民

と行政職員・議員

市民が選んだ代表議員

プロの集団として本気の市政

改革を求めます!

市長・議員さん頑張って!!

本 気

本気ですれば

大抵のことができる

本気ですれば

何でもおもしろい

本気でしていると

誰かが助けてくれる

今の瞬間に全力を

尽くさない者に、未来

を語る資格はない。

サッカー元イタリア代表、ロベルト・バジヨが
言った言葉

やうしやむ
信うし置やむし
れむしやむ
はぬしやうなば
くは動がむ

話う合ら
母を渡す
愛認う

はむしやうなば
くはぬだも

やうしやむ
妹を認うし母あうし
信置やむくは妹のち

【 一生覚えたい**武将**の言葉 】

- ① まともでない人間の相手を
まともにする必要はない。 ① 伊達 政宗

- ② 実力の差は努力の差 実績の差は責任感の差
人格の差は苦勞の差 判断力差は情報の差
② 武田 信玄

- ③ 理想を持ち、信念に生きよ ③ 織田 信長

- ④ 人は不遇になった時、初めて友情を知る
④ 前田 利家

- ⑤ 一生懸命だと知恵が出る。
中途半端だと愚痴が出る。
いい加減だと言いつけが出る。 ⑤ 武田 信玄

- ⑥ 必死に生きてこそ、
その生涯に光を放す。 ⑥ 織田 信長

- ⑦ 「一步一步、着実に積み重
ねていけば、予想以上の
結果が得られるだろう」 ⑦ 豊臣 秀吉

- ⑧ 「我が宝は、我のために命を
投げ出す家臣なり」・・・ ⑧ 徳川 家康

※ 戦国時代の武将が残した 名言集です！

どれもこれも 感銘をうけますが中でも 小生が一番好きな言葉は

②・⑤・⑥番の言葉が大好きです !!

各人好きな言葉があると思います・・・どなたの言葉でしょうか？